

# さあ、いよいよ反撃の開始だ

## 日刊 勤労千葉

87. 8. 26  
No. 2638

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（公衆）〇四七二（22）七二〇七

### 当局のスト権投票介入を弾劾する

強制出向粉砕闘争の重大な勝利が勝ちとられた。出向反対のスト権批准率九一・三％！これは、強制出向攻撃とこの間の強権的労務支配に対する労働者の怒りがどれほど深いものであるのかを鮮明に示すものだ。いかなる攻撃にも屈せぬ勤労千葉の団結を示すものだ。勤労千葉の断固たる闘いの方針提起と、スト権の圧倒的な確立によって当局は明らかに

出向攻撃を躊躇せざるを得なくなっている。さあ、いよいよ反撃の開始だ！更に当局をおいつめよう！

#### 当局、ストライキ方針に恐れ介入

このスト権の圧倒的な確立は、全く違法な当局の介入策動をはね返して勝ちとられたものである。スト権投票は、憲法で保障された労働者の最低限の権利であるスト権の批准のために、労組法第五条で定められているとおり、法に基づいておこなわれたものである。これに対し千葉運行部は何を血迷ったのか、各現場長に「勤労千葉のスト権投票を監視しろ」との指示をおろし、不当な支配・介入をおこなったのである。「労働者が労働組合を運営することを支配し、介入すること」は、労組法七条により明確な不当労働行為である。違法行為をおかしてまでも、スト権投票を押し潰そうとするほど、当局は、ストライキをも辞さず決起する勤労千葉の方針を恐れているのである。われわれは、でたらめ極まる違法行為を弾劾すると共に、この中にスト権確立がどれほど当局をおいつめているのか、自信と確信を今一度新たにすることが出来る。

#### 弾圧で労働者の魂はくじけない

退去命令に怒りの嵐

とりわけ、幕張電車区当局の支配介入は悪質である。組合事務所をおこなわれているスト権投票にまで「庁舎内での組合活動は禁止している」と云いながら弾圧をかけたのである。組合事務所内の活動まで、規制を加えるなど前代未聞の暴挙である。労働組合そのものを禁圧するに等しい行為

幕張支部は、当然にも、当局の弾圧をはねのけ、怒りを倍化してスト権投票を貫徹した。反動区長菅井、主席小野は、恫喝をもってスト権投票を押し潰すことができないと見るや、十七日十七時すぎ、幕張支部組合事務所に対し、「当社の施設管理権を侵害する行為であるので、ただちに建物から退去されたい」なる内容の「退去命令書」をもってあらわれた。

居あわせた役員や組合員からは、「一票投票をやらせないためだろう」「憲法違反だ」と次々に抗議の嵐がたたきつけられた。全く自信のない反動区長菅井は、その抗議の声には一言も返答できず、命令書だけをおくと逃げるようにして立ち去った。

スト権投票までを禁圧するというやり方の中、JR当局の姿勢が最も鮮明にあらわされているといわなければならない。彼らは、あたり前の「常識」すら持ち合わせていないのである。労働組合を禁圧し、自らの独裁的支配を貫徹するためには、違法行為など平気なのだ。しかし、弾圧によつて労働者の魂が挫けると思ったら大間違いである。

このスト権の圧倒的な確立を見よ！これが回答である。われわれは、強制出向粉砕闘争の大爆発をもって、この当局の暴挙に応えるであろう。

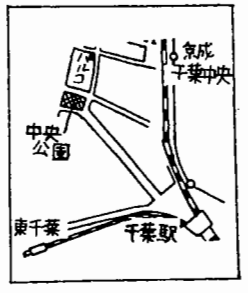
### 出向攻撃粉砕 8・29 総決起集会

勤労千葉支援 とき 8月29日（土）午後6時

ところ 千葉市中央公園

主催 勤労千葉支援共闘会議

集会後、千葉運行部（旧管理部）包囲デモ



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ